輝く!! 富(と)山(やま)の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

株式会社河原林業　河原　匡(ただし)さん

今回は、氷見市で素材生産を行っている株式会社河原林業の河原匡さんを紹介します。

河原　匡さん

河原さんは、富山県西部森林組合の森林作業員として活躍した後、平成27年11月に河原さんが中心となり、会社を設立しました。現在、5人体制で主に氷見市を中心に主伐や間伐・更新伐、竹林整備、屋敷林といった幅広い分野で仕事をされるほか、地元でもボランティアとして森林整備活動を実施するなど、精力的に活動されています。

1　担い手の育成・確保

河原林業は若い担い手の育成・確保に熱心に取り組んでいます。河原さんは現在41歳、社員の平均年齢が45歳と、県内の森林組合作業班員の平均年齢48歳（平成29年度）と比べても若い作業員が多いのが特徴です。

また、昨年4月には、27歳の竹本さんが新たに入社され、若い戦力として期待されています。

林業の世界では若い＝経験不足ととらえられがちですが、会社では河原さん自らが現場の先頭にたち、作業方法を指導するほか、労働安全に目を配ることで確実に実務をとおして、技術を伝えています。

竹本さんに林業について尋ねたところ、「仕事は楽しい。入社してすぐに必要な資格等は、会社で講習に行かせてくれた。山に入ると、木を切るだけではなく、河原さんや社員の方がいろいろな知識・技術を教えてくれる。これからも、もっと学んでいきたい。」とのこと。

河原さんの担い手育成への情熱を感じます。

若い竹本さんへ技術指導

2　高性能林業機械

また、河原さんは積極的に高性能林業機械を導入しており、所有する機械はハーベスタ1台、グラップル2台、フォワーダ1台体制で作業を実施しています。

また、本年度には新たに国の交付金を活用しフォワーダを1台購入することにより、素材生産量（平成30年次約3千㎥）を将来的には4千5百㎥を目標に取り組まれます。

3　終わりに

河原さんにお話を伺ったところ、

「これからの林業は成長産業。若い担い手が不足している今こそ、林業の未来に向けて頑張る取組が必要」

「作業現場に同じ条件のところは絶対ない。作業員には教科書通りの安全衛生ではなく、現場に応じた経験と課題を学ばせることが必要」

と話され、これからの林業を支えていく富む山の仕事人としてとても心強く感じました。

これからも、河原さんの益々のご活躍を願っております。

安全第一で作業

文責　高岡農林振興センター森林整備課林政・普及班